

## 国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業

# 周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第10回セミナー

今回のセミナーでは、本事業の海外連携研究者であるダニエル・ボツマン氏（イエール大学）に、報告をしていただきます。アメリカにおける日本史研究の先駆者であった朝河貫一（1873-1948）の生涯をスケッチしながら、イエール大学在任中、朝河が収集したいくつかの興味深い資料と、昨年新しく見つかった書簡を紹介していただきます。

日本社会史を海外で研究する際の方法論および本事業の国際交流研究に寄与する重要な意味を持つ報告として企画しました。日本近世・近代社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



（写真右：朝河貫一、Wikipedia より／写真左：バイネキ稀覯本図書館、2018年3月撮影）

### 朝河貫一（生没年：1873-1948）

福島県二本松市生まれ。大化改新、中世法制史研究者。1895年に現在の早稲田大学を卒業後渡米。1899年にイエール大学大学院歴史学科入学。1906年に同大学図書館と米国議会図書館から日本における日本関係図書の収集を依頼され、現・東大史料編纂所の三上参次、黒板勝美、辻善之助らの協力の下、東大寺文書・東寺百合文書等を研究、資料調査・収集を行った。1937年イエール大学歴史学教授、42年名誉教授、48年6月まで東アジア部長。国際世界における日本のありかたを提言するなど国際人として活躍。（東大史料編纂所 HP より）

**日時** 2018年10月18日(木) 16:00～18:30ごろ

**会場** 大阪市立大学 文学部会議室(文学部棟 1F L122)

**内容** ダニエル・ボツマン氏(イエール大学・歴史学部・教授 / 海外連携研究者)  
**「朝河貫一の史料収集と人文科学の意義」**

### 連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局  
佐賀 朝 (UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp